

平成30年度 普通会計決算見込みのポイント

大分県

1 歳入・歳出及び収支の状況

- 九州北部豪雨災害等からの復旧・復興に引き続き取り組むとともに、大分県版地方創生の実現に向けた「安心・活力・発展プラン2015」の取組前進、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催、武道スポーツセンター等の建設などにより、歳入歳出規模はともに増加
- 県税の7年連続の増収や不断の行革の取組により、実質収支は黒字を確保

◆歳入 592,252百万円（1.5%）

- 豪雨災害等からの復旧・復興事業の進捗に伴い国庫支出金が増加。武道スポーツセンターの建設や芸術文化短期大学の改修に伴う大分県立文化・スポーツ施設等整備基金の活用。また、地方消費税の増収などにより県税が7年連続で増加。

◆歳出 573,938百万円（2.2%）

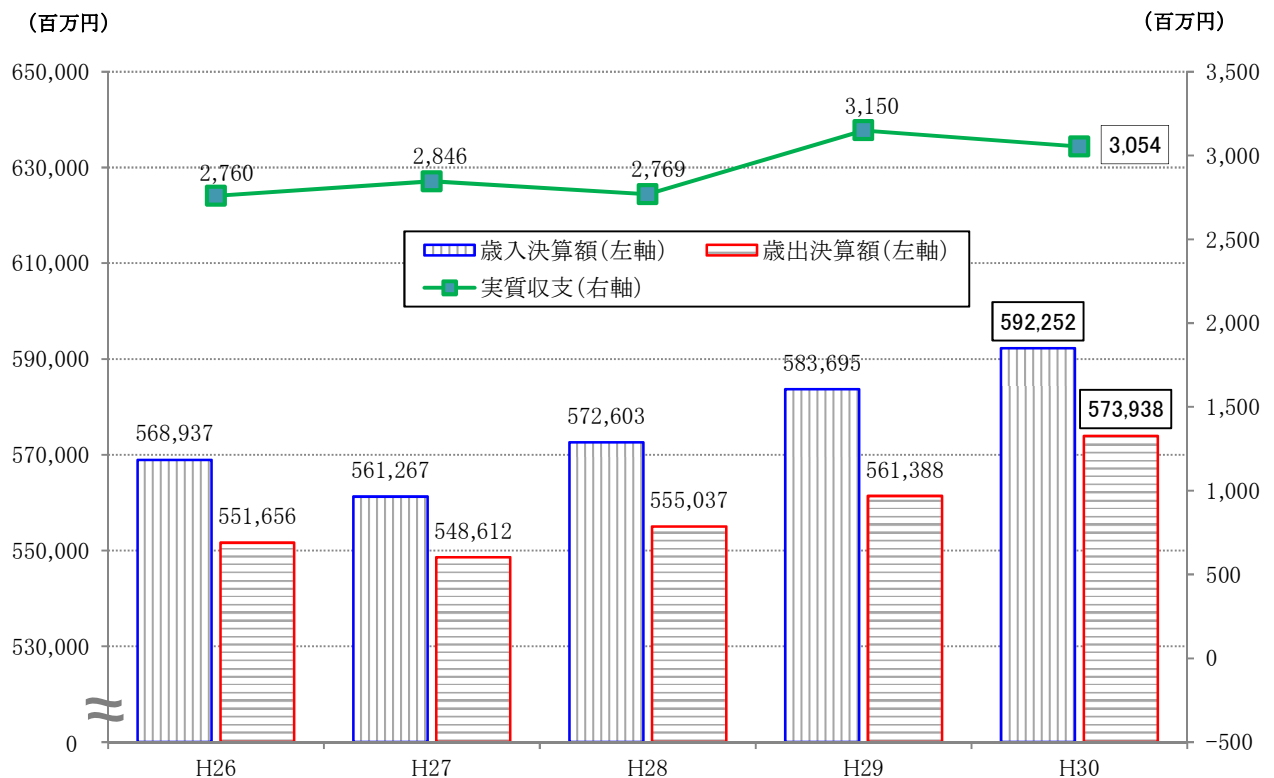
- 豪雨災害等からの復旧・復興の推進、武道スポーツセンターの建設などにより、投資的経費が3年連続で増加。また、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催事業費などが増加。

(参考)

(百万円)

| | | | | | | |
|------------------|-----|--------|---|-----|--------|----------|
| ○ H29豪雨災害等関連事業 | H29 | 10,345 | → | H30 | 18,515 | (+8,170) |
| ○ 武道スポーツセンター建設事業 | H29 | 1,610 | → | H30 | 3,899 | (+2,289) |
| ○ 芸術文化短期大学改修事業 | H29 | 1,417 | → | H30 | 2,317 | (+900) |
| ○ 国民文化祭等開催事業 | H29 | 175 | → | H30 | 806 | (+631) |

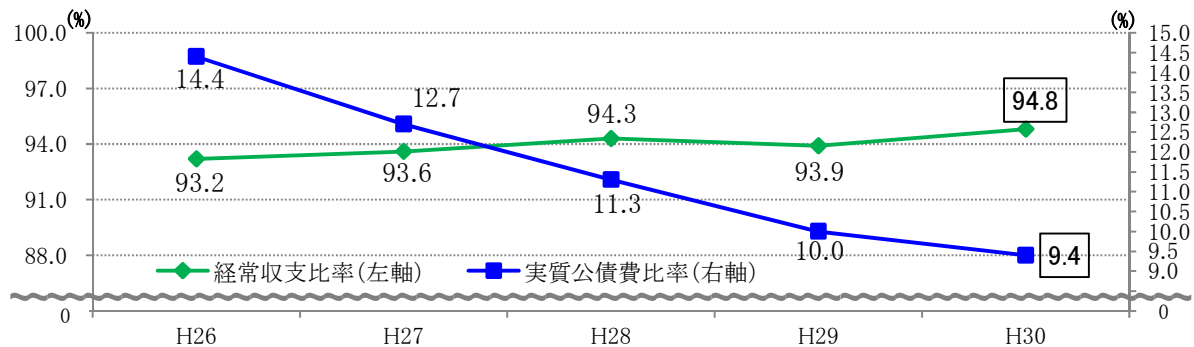
◆実質収支 H29 3,150百万円（黒字） → H30 3,054百万円（黒字）



2 財政の健全性

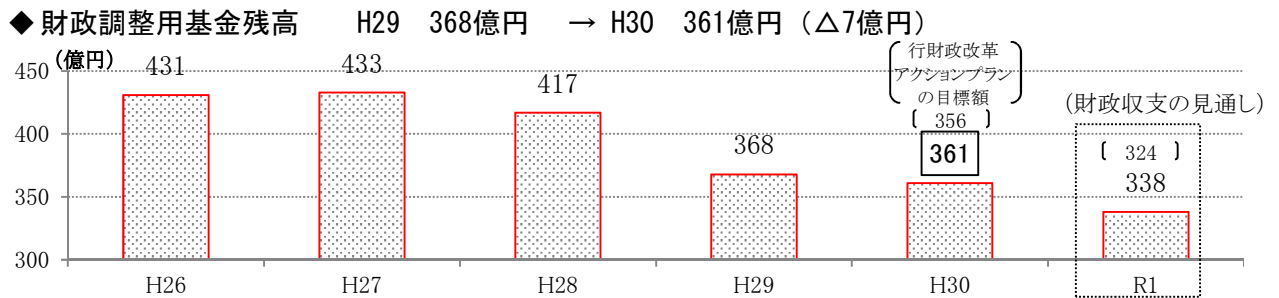
- ・財政健全化4指標はいずれも早期健全化基準以下
- ・財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、公債費等の経常経費が減少した一方、地方交付税等の経常収入の減により上昇
- ・公債費の標準財政規模に占める割合を示す実質公債費比率は、元利償還金の減により改善

| | | | | | | |
|------------|-----|--------------|---|-----|--------------|-----------|
| ◆ 経常収支比率 | H29 | 93.9% | → | H30 | 94.8% | |
| ◆ 実質公債費比率 | H29 | 10.0% | → | H30 | 9.4% | 【 25.0%】 |
| ◆ 将来負担比率 | H29 | 162.0% | → | H30 | 167.4% | 【 400.0%】 |
| ◆ 実質赤字比率 | H29 | なし(参考▲1.00%) | → | H30 | なし(参考▲0.94%) | 【 3.75%】 |
| ◆ 連結実質赤字比率 | H29 | なし(参考▲5.83%) | → | H30 | なし(参考▲6.33%) | 【 8.75%】 |

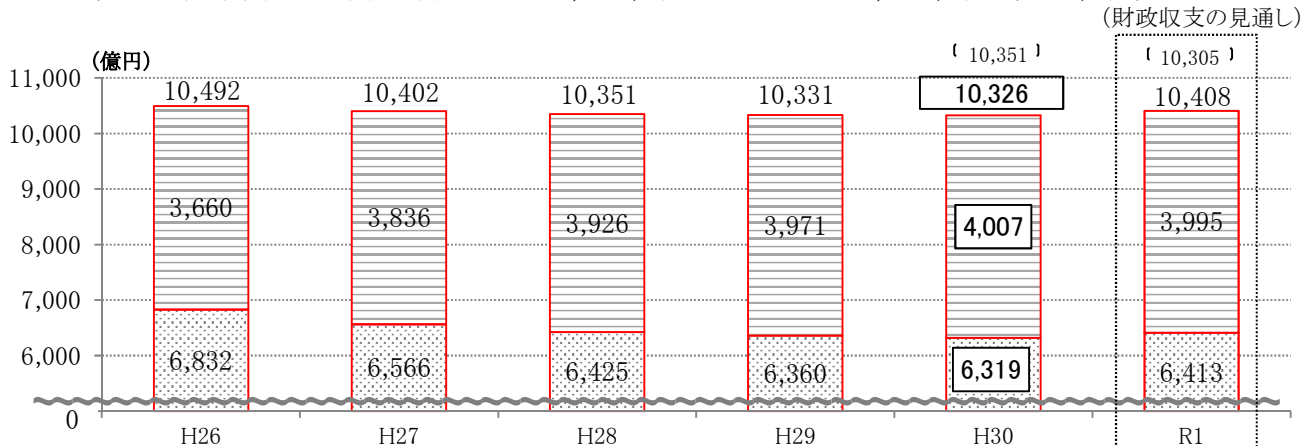


3 財政基盤の強化

- ・財政調整用基金残高は、行財政改革アクションプランの目標額を確保
- ・県債残高は、発行抑制などにより5年連続で減少し、臨時財政対策債を除く残高も17年連続で減少



◆ 県債残高(一般会計) H29 10,331億円 → H30 10,326億円 (△5億円)
 (臨時財政対策債除く県債残高 H29 6,360億円 → H30 6,319億円 (△41億円))



■ 臨時財政対策債 ■ 臨時財政対策債除き

○ 問い合わせ先
 財政課 松垣(内2358)